

平成30年度第2回さぬき市図書館協議会 会議要旨

- 1 日 時 平成31年2月4日(月) 13:30～15:30
- 2 場 所 さぬき市教育委員会2階第5・6会議室
- 3 出席者 【委員】合田 誠 井上 綾子 有岡 融代  
石川 智治 池田 洋子 柊 直孝  
森 幹男 池田喜美代  
【事務局】細川生涯学習課長 射場館長(志度)  
中村館長(寒川) 堀口副主幹  
伊関係長
- 欠席者 木村 彰伸
- 傍聴者 無し
- 4 議 題 (1) 平成30年度さぬき市図書館事業中間報告について  
(2) 平成31年度さぬき市図書館事業計画(案)について  
(3) その他

5 会議の内容

発言者	意見概要
(事務局)	(会議の公開等の取扱いについて説明した。)
(委員)	(公開することで了承された。)
(事務局)	本日の傍聴は、ありません。では、平成30年度第2回さぬき市図書館協議会を開会します。
(委員長)	(委員長挨拶)
(課長)	(生涯学習課長挨拶)
(事務局)	(資料の確認をした。)
	議事に移ります。さぬき市図書館規則第2条第2項により、進行は委員長にお願いします。
(委員長)	平成30年度さぬき市図書館事業中間報告について、事務局は説明してください。
(事務局)	(議題(1)のさぬき市図書館事業報告説明)
(委員)	6ページの「相互貸借件数」の借り受けの区分についてですが、県内の「その他」という部分はということなのでしょうか。
(事務局)	高松市図書館や丸亀市図書館等から借り受けている冊数を表しています。
(委員)	香川県立図書館以外ということでしょうか。
(事務局)	その通りです。
(委員)	小学校と中学校の代表する方がいらっしゃるのをお聞きしたいのですが、2ページ目の「年齢別利用状況」を見てみると、「7歳から12歳」と「13歳から15歳」を比べると、これだけ落ち込むのかと感じました。それぞれの年齢層の人数が減るわけでもないのにどうしたものなのでしょうか。
(副委員長)	7歳から12歳と12歳から15歳、年齢層の人数としては半分に減ってそのまま

	<p>かなと思っていますが、それであれば7歳から12歳が3000人くらいであれば12歳から15歳は1500人でなければなりません。しかしながら実際は300～600人となっており、図書館利用者が少ないと感じます。部活動等で平日の開館日に図書館によるというのがまず難しいというのがありますし。</p>
(委員)	<p>先月ぐらいに四国新聞に連載で「ゲーム依存症」について記事がありました。それとは関係ないでしょうか。</p>
(委員長)	<p>学校図書の充実も関係があるのではないのでしょうか。</p>
(副委員長)	<p>委員さんのおっしゃるとおり、ゲームやスマートフォンに掛ける時間が、我々が考える以上に膨大な時間を掛けているようなので。なかなか学校の指導でも通らないことがあります。家庭の事情や保護者の考えが大きく関わっているのかなと思います。</p>
(委員長)	<p>新規登録者数も中学生は非常に少ないですね。</p>
(委員)	<p>小学校から中学校になってこれだけ利用者が減少するのは、本から本とは違う何かの流れているのを感じます。もうちょっと学校側に力を入れてもらえばと思います。</p>
(副委員長)	<p>保護者啓発が大きいかなと思います。志度図書館利用者の場合で言うと、中学生の利用は小学生の利用に比べて1/3になっていますので。</p>
(委員)	<p>この状態でいうと、60歳以上の人がいなくなると、利用者はますます減りますよ。</p>
(委員長)	<p>活字からも離れているという状況ですね。</p>
(委員)	<p>学校で処置ができないでしょうか。小学校・中学校で本に目を向けるようにしていかなければと思います。</p>
(委員長)	<p>小さい時から読む習慣をつけておかないと小学校、中学校になるにつれ活字から離れてしまうように感じますね。</p>
(委員)	<p>最初は電子書籍に取られてしまうのではないかと感じていましたが、たぶんそれはもうないと思います。しかし、ゲームの方で取られてしまう恐れを感じています。</p>
(委員長)	<p>新聞でも子どもが小さい時から「ゲームを止めなさい」と言っても聞かないとありましたが、家庭の中でも難しい部分ですかね。</p>
(委員)	<p>私は孫が小さいころから読み聞かせや図書館の利用を進めていたんです。でも、スマートフォンの普及で手近にゲームとかインターネットを打てるようになった。それでも最近囲碁や将棋が流行っていて、孫から「将棋しよう」と誘われることがあります。志度図書館のふれあいコーナーで利用者が囲碁や将棋をやっている、利用者「子どもが将棋とかやりに来たら相手してくれますか」と聞いたら「声をかけてくれたらええのに」と言ってくれたのを覚えています。ゲーム依存やスマホ依存を聞くようになって、図書館の利用についてどうすればよいか考えていたら、ふと、囲碁将棋をやっている利用者が月に1・2回でも子どもたちの相手をしてくれたらと思いました。大人と子どもとの触れ合いになっていいと思います。</p>
(委員長)	<p>囲碁将棋をしている方は大人が多いですか。</p>
(事務局)	<p>ふれあいコーナーで囲碁将棋をしている方たちは、サークル活動をしているのではなく、個々に自由な時間に来て帰られます。その中でも子どもが好きな方もいらっしやり、一緒に勝負をやっている姿をたまに見かけます。</p>
(委員長)	<p>ブームにもなっているからかもしれませんが、いい雰囲気ですね。</p>
(委員)	<p>志度の児童クラブでも、月に一回将棋を教えてもらっています。</p>
(委員)	<p>本に興味を持つ人がいなくなりつつある状態が続けば、図書館協議会で図書館につ</p>

<p>(委員)</p>	<p>いろいろな協議をしても、それが水泡に帰すと思います。減っていく前の段階で抑えなければならないと思います。</p> <p>今の話と関連しますが、3ページの「②地区別貸出冊数」で、市全体の貸出冊数の人口割は2.3となっています。この数字は中間報告なので年計ではないと思いますが、この数字が香川県内の図書館で横並びに見た場合、たぶん多いとは言えないと思います。例えば、高松図書館は市内一人当たり6冊とか、一番多い宇多津で10冊くらいだったかなと。このあたりを分析していけばいいんじゃないかなと思います。利用者数についても同じように分析すればどうかと。原因を分析・追及する必要があるのではないのでしょうか。利用者等の減少の原因がゲームやスマートフォンの利用にいつてしまっているのか、あるいは、志度図書館も寒川図書館も単独の図書館施設で複合施設ではないので、地理的に遠く感じたりしているのではないのかと。また、言いくいのですが図書の中身・内容も原因の一つかなと思います。図書館に入った印象も利用する・しないの原因になると思いますが、私は寒川・志度図書館ともに雰囲気やマナーは他の図書館に比べて良いし、入りやすいと思っています。しかし、特に志度図書館は地理的にさぬき市の端っこにありまして、津田地区や大川地区からは遠いと感じます。全体的に分析する必要があると思います。</p>
<p>(委員長)</p>	<p>私は香川県立図書館の図書館協議会の委員もしておりまして、香川県立図書館のデータを見ておきますと、どの図書館もいろいろ努力をしているのがわかるのですが、利用者数・貸出し冊数ともに大きく減少をしています。県立図書館での13歳から18歳の新規登録者数は他のどの年齢層よりも少ない。どこでも同じような状況なのですね。事務局からありました総評の中に、「イベントで入館者は増えたが、なかなか利用者増加に結びつかない」とありましたが、他の図書館も同じような状況なのです。けれども、イベントをすることによって、人が来る、来てくれないと図書館のことを理解してくれないという観点からすれば、イベントは図書館には大事なものだと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>「年齢別貸出状況」を見てみると、自分の孫を見てもわかるのですが、小学校のときは本が好きで親とだけでなく自分だけの時でも本を読んでいた。ところが、中学高校になると、スマートフォンを使用している。親も工夫して試験中は使わせないなど対応しているのですが、友達が持っているのでなかなかうまくいかない。そういうのを見ているので、中高生の利用者数を見ると妙に納得してしまいました。何か良い方法がないかと考えたのですが、先日瓦町フラッグに初めて行きまして、中を見てみますと、子どもたちが自由に勉強をしていました。そういう勉強できるコーナーを、中のいろいろな所に設置しているようでした。図書館まで行くと緊張して入れないという子たちも、自由に勉強したり本が読めたりするというのが、志度図書館でいうふれあいコーナーみたいなものかと思います。このような取組みも必要かなと感じました。瓦町フラッグは複合施設なので環境も違うのですが。</p>
<p>(委員長)</p>	<p>三木町の図書館も複合施設で、図書館の外にフロアがあるのですが、そこで本を読んだり勉強できたりします。志度図書館でもふれあいコーナーで囲碁や将棋だけでなく、いろいろできたらいいなと感じました。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>昨年くらいからふれあいコーナーの自習利用も増えてきています。自習に利用する子たちは朝から来て勉強をしています。囲碁将棋をしている方たちは午後1時から来</p>

(事務局)	るのですが、自習に来る子たちで席が埋まる状態になったことがありまして、学生が座れない一般席を設けたこともあります。自習席を求めているのを感じました。
(委員長)	本を借りる場所からそういうのができるというのが図書館の理想なのですが、なかなか両図書館ともそのスペースを確保できないのが現実ですね。
(委員)	平成28年度の協議会の会議録を見せていただいたのですが、「さぬき市図書館の予算が少ない」と委員さんから意見がありましたが、それに対して、「他の図書館と比べても少ないほうだ」と答えられていました。また、「ここ6年くらいは学校建設のほうに予算を取られていて、その影響でその他の予算が制限されているかもしれない」ともあり、「文化的向上には図書館は不可欠で、学校建設が落ち着けば予算を回せるかもしれない」とありました。これから少しでも希望が出てくるのではないかと考えたのですが、どうでしょうか。
(課長)	予算面につきましては、ほぼ前年と同じです。要望はしているのですが、おそらく今の人員でやっていかなければならないと思います。
(委員)	志度図書館開館15周年のアンケート結果を見せていただきましたが、それをピックアップしますと、平日の開館時間を延長して欲しいとか、自由研究に役立つイベントをして欲しいとかありました。先日東かがわ市図書館に行きましたが、複合施設となっており、JRや商店街に近く気軽に利用できて最新設備も備えていて、10代が使えるティーンズルームも設けていました。開館時間は9時から19時まででした。そういう施設が隣の市にできたので、さぬき市図書館も考えていかなければと感じました。
(委員長)	さぬき市に蔵書されている図書の中に、デージー図書はありますか。
(事務局)	数は少ないですが、あります。50点ないくらいですが。
(委員長)	年々増やしているのではなくて、前からあるものですか。
(事務局)	デージー図書を使える機器が図書館にありません。だから増やしてもいません。
(委員長)	デージー図書があるのは、利用者は知っていますか。
(事務局)	デージー図書が使える機械をお持ちの方にはお貸しできるのですが。それがないと使えません。以前は福祉事務所で持っていたのをお借りして志度図書館に置いて使ってもらっていましたが、福祉事務所に返さなければいけなくなり、現在に至っていません。
(委員)	デージー図書を利用されている方はいないのですね。デージー図書はこれから必要になるのではないかと感じていましたので。
(事務局)	デージー図書を使うには、それ用にスペースを確保しなければならないということがあります。そこをまず作る必要があります。利用者開放用パソコンが5台あるのですが、協議会資料に示しているとおり、利用者が減っています。そこで、そのパソコンのところを1箇所くらい目や耳が不自由な方が使いやすい資料のために空けてもいいのかなとはここ1・2年に意見が出ております。
(委員長)	デージー図書が浸透していないのかもしれないですね。健常者だけでなく、目や耳が不自由な方などみんなが使える図書館というのを知らせるようにしなければなりませんね。
(事務局)	不自由な方のためのモニターや機械を置くスペースや購入する予算もありませんので、それらの図書の拡大ができていない状況です。

(委員長)	レファレンスサービスはカウンターで行っているのですか。
(事務局)	行っております。
(委員)	東かがわ市図書館でありましたが、「この図書館の運営にふるさと納税の補助金が活用されています」という掲示がありました。この掲示はいいなと思いました。ふるさと納税の使い道も見え、より図書館の利用者とふるさと納税者が近くなって相乗効果があるのではと思いました。
(委員長)	他に意見がないようなので、平成31年度さぬき市図書館事業計画(案)について、説明してください。 (議題(2)平成31年度さぬき市図書館事業計画(案)について説明した。)
(委員)	13ページの「広報関係」にあります、ツイッターについてありますが、何か手ごたえがありますか。あれば紹介してください。
(事務局)	ツイッターは、こちらから情報を流すもので、何がいかと申しますと、今書いたものがすぐに人に届くというメリットがあります。例えば広報ですとひと月前にお知らせをするので忘れてしまいがちになります。ツイッターの場合は、そのイベントの前の日に情報を発信することができ、新しい情報を届けられます。また、台風などで臨時に休館しなければならない場合もお知らせができます。そういう即時性が大事です。カラーの写真もつけられるため、行っている行事の様子なども知らせることができます。
(委員)	それはホームページでは済まないことですか。
(事務局)	ホームページよりも早く情報を届けることができます。ホームページの更新は月に一回です。
(委員長)	図書館よりも、月一回協議会委員さんに送ってもらい、さぬき市図書館のイベント等の情報がわかりやすく書かれていていいと思います。
(事務局)	イベントを行って入館者も増えたのですが、貸出し冊数など利用者の増加には結びついていない状態です。委員さんもおっしゃっていましたが、ゲーム、スマートフォンには中毒性があり、そこにはまってしまうと抜け出せなくなる。その結果本を読むことに費やす時間がなくなってしまう。ただでさえ部活や塾などで時間がないのに、図書館なんて来てくれなくなる。そこでイベントに力を注いだのですが、一時的なもので終わってしまい、利用者拡大につながっていない状況です。
(委員長)	小さい頃からゲームをしていると、本を読むのが苦痛になって簡単なゲームの方にいってしまう。逆に小さい頃から本に親しんでいると、活字が好きになる。なぜ本が良いのかというと、小さい頃から本を読んでいる子は社会性ができいろんな人間関係が構築できたり、想像力が増えるのです。
(事務局)	本を読んで活字になれていないと、この文章が何を言っているのか理解できない、理解できないからいらなくなってしまう。
(委員長)	小学校で授業をじっと聞けるのは小さい頃から読み聞かせができていた子どもだということも聞いたことがあります。話の理解ができるからいろんな人と話ができて、人間関係が構築して広がっていく。こういう本の良さをもっとお話ができる機会があればと思いますね。
(委員)	小学生の利用状況について考えなければいけないなという意見が出ましたが、15周年のアンケートを取りまして、「祝祭日に行っても図書館が閉まっている」という

	意見がありました。次年度には少しでも祝祭日を開館させるには人数を増やさなければならぬと思っております。人件費が必要になりますが、次年度はそういう計画は考えていますか。
(課長)	次年度については、人件費を増やす計画はありません。開館日を増やすのは現時点では難しいです。要望はしているのですが。
(委員)	祝祭日開館で少しでも利用者増加について前に進めばと思っているのですが、残念ですね。
(委員長)	図書館の職員を見ているといつも忙しそうに仕事をしています。大変な業務とは思いますが。委員さんのおっしゃるような方向にできればと思いますね。
(委員)	平日よりも祝祭日の方が利用者は多くなると思いますね。
(委員)	予算資料を見ながら思うのですが、公立図書館なので教育的に品位を保っておればいいのかと感じます。人口が減っていく中で公立図書館の役割とはどういうものかを考えるべきだと思います。地域で図書館は違うが、あるべき理想というか、こういう役割を果たすべきだというものと考えながら運営して欲しいというのが私の意見です。予算が少ないので、これで運営していくのは辛いと感じます。先程の運営状況の報告でもありましたように、いろんな行事や講座を限られた予算や人の中でやっているのは素晴らしいと思います。予算を見ても市職員が限られているということですよ。予算のしわ寄せが図書館に来ているのではないかと感じてしまいます。今より良くしていこうというスタンスは持つべきで、その中で色々議論されているのだと思います。例えば図書館購入費が寒川と志度を合わせても450万くらいしかありません。現在のさぬき市の人口が5万足らずですが、1人あたり100円も満たないことになっています。香川県内の市と比べてもビリに近いのではないのでしょうか。
(委員長)	公立図書館の中では低いと思います。図書館は小さい子どもから大人まで来館するので、一番の情報発信施設と言われています。こういうところにお金を掛けても何の無駄にもならないと思います。
(委員)	何よりも予算が少ないですね。まあ、図書館以外の所でも予算が無いと思いますが。文化の基本的な所で街の顔にならなければならないので、本当に考えて欲しいです。予算が無い中で職員さんがご苦労なさっているのを見ておりますので。
(委員)	そこが大事な所で、スタッフの方の頑張りで図書館が支えられているんだと思います。職員がレベルの高い図書館を維持していくためには、お金ではなく人なのです。異動とかもありますでしょうし、嘱託や臨時職員の方にも任期があるでしょう。人が変わるときにレベルを維持またはアップできるようにしなければならないと思います。人が変わって下がったのでは一番困るので、そこをしっかりと支えて欲しいなと思います。
(委員長)	他に意見がないようなので、その他について、説明してください。
(事務局)	(議題(3)その他について説明した。)
(委員長)	さぬき市図書館の自習についてお聞きします。どのように対応していますか。
(事務局)	まず、寒川図書館からですが、自習のできる場所は2階にあります。テスト前になりますと、中高生がたくさん来ています。その中で、お年寄りも一緒に勉強したりしています。しかし、それが1年通してとなると、少ないですね。

(委員長)	何かあったら注意とかなさっていますか。
(事務局)	<p>中年の方はパソコンを持ち込んでそこで仕事をしているのが見受けられたりしているのですが、自習なのかどうなのか線引きが難しいことはあります。長時間になればお声掛けします。また、子どもたちが多いと勉強の邪魔になるという声もありますが、子どもたちはずーっと居るわけではありませんので、注意はしません。自習している子どもはだいたいおとなしく勉強をしています。また、新聞を読むスペースでは、仕事を退職したばかりの方が利用するようになり、そこについてはもう少し充実したいと思っております。</p>
(委員長)	志度図書館はどうでしょうか。
(事務局)	<p>志度図書館は自習の態度は非常にいいです。夏休みなどでは小中学校の先生方が見回りにきていますが、注意をすることはいいです。かえって大人の方が騒がしく感じます。自習をする人と本を読む人の共存共栄を図って、お互いが邪魔になるようになれば職員が見回って注意をするという形をとっています。また、一度東かがわ市図書館に行きましたが、豊富な書籍もあり自習しやすいような環境を作っているなど感じました。今後のさぬき市図書館のためにも一度詳しいことを聞いてこようかと思いました。</p>
(委員)	<p>さぬき市図書館は人数や予算の少ない中色々やっていただいて、大変助かっております。それに合わせて、今後の目標として、他の図書館に追い付け追い越せの気持ちでやっていただけたらと思います。</p>
(委員長)	他になければ以上で終わります。事務局に進行を返します。
(事務局)	<p>事務局からはお礼とお願いを申し上げます。委員さんの中で、年度の替わることによりまして、本協議会の委員さんに変更が生じる場合、決定後速やかに事務局まで御一報ください。以上です。長時間の御審議ありがとうございました。</p>
(委員長)	(委員長挨拶)
(事務局)	以上で、平成30年度第2回図書館協議会を終了します。